

中部地区 公民館だより

第167号

令和7年1月8日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

本年もよろしくお願いたします

令和7年新年のあいさつ

明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年も、『生涯学習と交流の場』として、多くの皆様から、笑顔で楽しく、そして気軽に利用していただける公民館にしていきたいと考えています。

皆様には、健康で幸多き年でありますように、心からご祈念申しあげ、新年のあいさつといたします。

中部地区公民館職員一同

巳年



2025



優しさに包まれた時間

一般講座 演奏会②
童謡愛好会「野の花」

12月9日(月)、多目的ホールで、童謡愛好会「野の花」のコンサートが行われました。「野の花」は、公民館で練習している団体で、メロディーや歌声はかすかに聞こえてきますが、実際に生の歌を聞いたのは初めてでした。指揮 片桐孝子さん、ピアノ 安部恵美さん、野の花メンバー18人で、童謡や冬の歌など14曲を披露していただきました。「野の花」の歌声は、温かな優しさがあり、和やかな雰囲気でした。聞き覚えのある曲が多く、思わず口ずさんでしまう方もいて、アットホームなコンサートになりました。健康維持のために楽しく毎週練習しているそうですが、聞いている参加者も元気になりました。最後の曲“野に咲く花のように”は、会の皆さんが大好きな曲で、「歌詞がすばらしく、このような生き方ができればいいなと思っています」とあいさつした後、心を込めて歌っていただきました。全員合唱では「旅愁」と「故郷」を歌い、素敵な歌声が会場いっぱいに響き渡りました。



はこべの会 学習会

博物館見学と映画鑑賞



11月18日(月)、映画鑑賞と山形大学附属博物館を見学してきました。

博物館では山形県の高山植物、県内から出土した土器や石器を紹介する考古コーナー、江戸時代の暮らしと最上川舟運にかんする資料など、コーナーごとに分かれていてとても楽しく見学できました。

映画は『八犬伝』を鑑賞してきました。

ふるさとふれあいフェスティバル



スリッパ飛ばし



輪投げ



かるた



折り紙



けん玉

11月20日(水)、小学1年生を対象にふるさとふれあいフェスティバルを上山小学校で開催しました。

懐かしい昔遊びを学区内の高齢者や祖父母と一緒に遊びました。「昔、やったのに忘れた」「昔は簡単にできたのに」など、溜息と共に聞こえてきました。「来年は練習してから来たいから公民館で練習する機会をつくって」という前向きな要望もありました。

子ども達から元気をもらえた楽しい時間でした。

はこべの会 学習会

スポーツ教室 フットゴルフ



12月4日(水)、はこべの会スポーツ教室で『フットゴルフ』を行いました。

サッカーとゴルフをあわせたようなスポーツで激しい運動ではないのですが、ボールを蹴ったり追いかけたりするだけで、軽く汗をかくことができました。

一蹴りごとに歓声があがり、楽しい時間をすごしました。

アレンジメントフラワー教室

12月18日(水)、講師に日本切花協会三ツ星 HANA ソムリエマスターの畠山さんを迎え、クリスマスとお正月の2種類のアレンジメントフラワーを作りました。

「正面だけでなくどこから見ても美しくみえるように挿せばいいですよ」と指導をうけ参加者の皆さんは思い思いに花を挿していました。

出来上がりはとても満足がいくものができ、皆さん喜んで帰られました。



お正月

クリスマス



ハンドクリームづくり教室 (一般講座)

参加者募集

日時 1月26日(日) 午前10時から
 場所 中部地区公民館 多目的ホール、調理室
 講師 ハチ蜜の森キャンドル 代表 安藤竜二さん
 対象 中部地区在住の方
 募集人数 10組
 参加費 1組1,000円
 申込締切 1月20日(月)
 持ち物 必要な方は飲み物、エプロン



救命救急講座 (一般講座)

参加者募集

日時 1月29日(水) 午前10時から
 場所 中部地区公民館 多目的ホール
 講師 上山市消防本部職員
 対象 中部地区在住の方
 一般募集 10人
 参加費 無料
 申込締切 1月22日(水)



1月の予定

~3日(金) 年始休業
 10日(金) 出前スポーツ教室② モルック
 15日(水) はこべの会 サロン
 17日(金) はこべの会 歌の教室
 26日(日) ハンドクリームづくり教室
 29日(水) 救命救急講座



1月のサロン

新春 初釜茶話会 & ビンゴゲーム

日時 1月15日(水) 午前10時00から
 場所 中部地区公民館 多目的ホール
 会費 300円
 締切 1月14日(火) 午前中



1月の百歳体操 9、16、23、30日



藤井松平氏シリーズ4. 「松平信亨侯」～(3) 上山藩政上の汚点

藤井松平上山四代信亨侯は宝暦十一(1761)年に家督を嗣ぎましたが、寛政二(1790)年2月に幕命で強制的に隠居させられ、後を長男信古に譲りました。

この間のことを年次的に挙げてみます。諫言した節約理財派参政伊田半兵衛、伊田老女、中村新右衛門、友人毛利孫平治(重華)と、守旧の封建制倫理派仁科九郎右衛門、土田源次兵衛、菅谷蔵主、小川助左衛門の壮絶な対立がありました。

“水戸御老公”のお出ましをいただきたいような藩内の暴逆ぶりです。

信亨侯は、明和八(1771)年藩財政再建のために厳しい検地を実施し年貢収量を上げようと図りましたが、農民の激しい反対により失敗しました。安永八(1779)年には大坂加番帰路に濃州大垣戸田采女正(大垣中興の藩主)より金子を借用するという不名誉な事態が起きました。安永九(1780)年、帰府後も佞臣、旧重臣を侍らせ続け、天明三

(1783)年正月20日に良識(理財吏僚)派の執政家老伊田半兵衛を蟄居させ、一年後の天明四(1784)年正月5日には傅役(若君を育てる教育係)中村新右衛門を江戸麻布下屋敷に蟄居を命じました。寛政元(1789)年、藩主に諫言した家老松平善右衛門はさじを投げて引退、寛政二(1790)年2月20日に幕命で信亨侯は強制的に隠居させられ、長男信古が家督を嗣ぎました。以後藩内治政は平穏に見えましたが、隠居後も華美奢侈な生活を送り、寛政五(1793)年に中老御勝手方金子六左衛門(萬嶽・清邦祖父)も諫言、改まらず職を辞しました。隠居で収まったかに見えた内部抗争は一新ということにはならなかったのでしょうか。この間を「寛政の政変」と伝えられるお家騒動が続きました。

中でも天明三(1783)年忠臣中村新右衛門

は37歳の時に入牢を命じられ、翌天明四(1784)年7月4日獄死するということがありました。中村新右衛門は、延享四(1747)年に生まれ、幼き頃より父の勧めで武芸勉学を志して灯の油を買う資力ないなか線香の火を照らして読書に没頭、孔子末裔の孔安国著「古文孝経」や古典「春秋左氏伝」「周易」「老子」を読破、16才になると兵学を修めて江戸詰めを仰せつけられ、安永二(1773)年に馬廻り普請方、長柄奉行、郡奉行と出世を続け近習役になりました。藩主は「今までの諫めに背く身を悔(さげす)んでただ子のことを頼むと謗れ(今まで通りに意見せよ)」と歌に詠み、忠言する側近傅役として仕えたのでした。ところが天明三(1783)年7月頃からやっかむ奸臣の長き讒言によって藩主の勘気にふれ、天明四(1784)年正月25日「御厚恩あるも不調法の数々」と名代山村縫殿助により“蟄居”を命じられたのです。

牢屋敷蟄居中は、「かたちこそ(江戸にいて)野山隔つれいつとともこころは君をはなれるべきやは」と詠み、老母に思いを馳せ、また更に勉学に勤しみました。しかし、飲み水、配膳も間遠になり、天明四(1784)年の7月4日「忠誠無二の新右衛門は、萬斛(測り知れないほど)の涙をのんで長逝」することになったのです。藩政紊乱のなか中村新右衛門の幽死は、伊田半兵衛、伊田老女、毛利孫平治らへの仕打ちや金子萬嶽らの隠居を象徴代表するものです。

以上は、「忠臣中村新右衛門幽死の顛末」、「蟄居日記」、「寛政時代の上山藩藩政秘録」を載せる『上山藩内証事件資料』によりました。上山藩政に不幸な時代がありました。

※参考資料：主に『上山藩内証事件資料』⑤などを参照しました。